

カルノシン合成酵素

Cat. No. EXWM-5732

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 この酵素はAMPを形成すると考えられていましたが、高度に精製された酵素を用いた研究により、ADPを形成することが証明されました。カルノシンは、脊椎動物の骨格筋および嗅球に高濃度で存在するジペプチドです。また、一部の無脊椎動物の骨格筋にも見られます。この酵素は、4-アミノプタン酸とL-ヒスチジンからホモカルノシンを形成する反応も触媒できますが、その活性ははるかに低いです。

別名 カルノシン合成酵素; カルノシン-アンセリン合成酵素; ホモカルノシン-カルノシン合成酵素; カルノシン-ホモカルノシン合成酵素; L-ヒスチジン:β-アラニンリガーゼ (AMP形成) (誤り)

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 6.3.2.11

CAS登録番号 9023-61-4

反応 $\text{ATP} + \text{L-ヒスチジン} + \beta\text{-アラニン} = \text{ADP} + \text{リン酸} + \text{カルノシン}$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C ~ -80 °C で保管してください。